

役員紹介

取締役・監査役



左から、阿部 康行 谷田 泰幸 大山 永昭 辻 孝夫 今井 正樹 浅井 彰二郎 藤田 聡 江口 祥一郎 坂本 隆義 宮本 昌俊 疋田 純一 岩田 眞二郎 野村 昌雄

取締役

阿部 康行 ^{*1} 取締役 取締役会議長	今井 正樹 取締役	野村 昌雄 取締役
辻 孝夫 代表取締役	宮本 昌俊 取締役	疋田 純一 ^{*1} 取締役
江口 祥一郎 代表取締役	谷田 泰幸 取締役	岩田 眞二郎 ^{*1} 取締役 <small>※1 会社法第2条第15号に定める「社外取締役」です。</small>

監査役

藤田 聡 常勤監査役	坂本 隆義 常勤監査役	浅井 彰二郎 ^{*2} 監査役	大山 永昭 ^{*2} 監査役 <small>※2 会社法第2条第16号に定める「社外監査役」です。</small>
----------------------	-----------------------	------------------------------------	---

執行役員

辻 孝夫 会長執行役員 最高経営責任者 (CEO : Chief Executive Officer) 輸出管理最高責任者	谷田 泰幸 常務執行役員 最高技術責任者 (CTO : Chief Technology Officer)	高田 伸一 執行役員 APAC (Asia Pacific) 総支配人
江口 祥一郎 社長執行役員 最高執行責任者 (COO : Chief Operating Officer)	栗原 直一 常務執行役員 米州総支配人	寺田 明彦 執行役員 中国総代表 JVCKENWOOD Hong Kong Holdings Limited 董事長 JVCKENWOOD Hong Kong Limited 董事長 JVCKENWOOD (China) Investment Co., Ltd. 董事長
今井 正樹 副社長執行役員 最高戦略責任者 (CSO : Chief Strategy Officer) 最高総務責任者 (CAO : Chief Administration Officer) 内部統制室長、輸出管理法令監査部門責任者	野村 昌雄 常務執行役員 オートモーティブ分野責任者 オートモーティブ分野 OEM事業部長 EMEA (Europe, Middle East and Africa) 総支配人	林 和喜 執行役員 メディアサービス分野責任者 メディアサービス分野 メディア事業部長
相神 一裕 副社長執行役員 CEO補佐 (ヘルスケア事業担当)	新井 卓也 常務執行役員 オートモーティブ分野 アフターマーケット事業部長	園田 剛男 執行役員 オートモーティブ分野 技術本部長
宮本 昌俊 専務執行役員 最高財務責任者 (CFO : Chief Financial Officer)	鈴木 昭 執行役員 パブリックサービス分野責任者	

●は取締役との兼務です。

執行役員 *取締役との兼務は除く



会社概要 / 株式関連情報

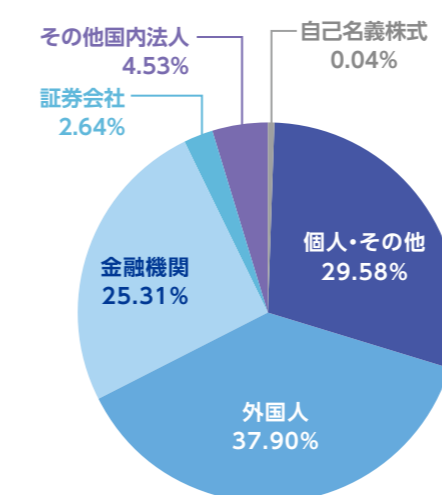
会社概要

商号	株式会社JVCケンウッド (英文名:JVCKENWOOD Corporation)
事業内容	オートモーティブ分野、パブリックサービス分野、メディアサービス分野の事業等を営むこと、ならびにこれに相当する事業を営む会社の株式または持分を保有することによる当該会社の事業活動の管理
代表者	代表取締役 会長執行役員CEO 辻 孝夫、代表取締役 社長執行役員COO 江口 祥一郎
設立	2008年10月1日
資本金	100億円(2018年3月31日現在)
従業員数(連結)	17,801名(2018年3月31日現在)
資産合計(連結)	239,877百万円(2018年3月31日現在)
資本合計(連結)	53,792百万円(2018年3月31日現在)
決算日	3月31日
本社所在地	〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町三丁目12番地 電話番号:045-444-5500(代表)

株式関連情報

定時株主総会	毎年6月開催
基準日	【定時株主総会】毎年3月31日 【期末配当金】毎年3月31日 【中間配当金】毎年9月30日 ※上記基準日のほか、基準日を定めて剰余金の配当をすることができます。
上場証券取引所	株式会社東京証券取引所 市場第一部
証券コード	6632
単元株式数	100株
発行済株式総数	139,000,201株(内、自己株式数55,050株) (2018年3月31日現在)
株主総数	47,462名(2018年3月31日現在)
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話照会先:0120-782-031 (フリーダイヤル) (土・日・祝祭日を除く午前9時から午後5時まで)

株主構成 (2018年3月31日現在)



大株主(上位10名) (2018年3月31日現在)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	6,976	5.02
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,490	3.95
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,092	3.66
株式会社デンソー	4,171	3.00
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140044	3,398	2.44
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	2,799	2.01
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140040	2,799	2.01
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	2,617	1.88
JPMC GOLDMAN SACHS TRUST JASDEC LENDING ACCOUNT	2,575	1.85
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	2,475	1.78

(注)持株比率は、自己株式(55,050株)を控除して計算しています。

海外ネットワーク

2018年6月1日現在

生産会社

会社名	所在地	主要生産品目
JVCKENWOOD Electronics Malaysia Sdn. Bhd.	Malaysia	通信関連機器、カーエレクトロニクス関連
JVCKENWOOD Electronics (Thailand) Co., Ltd.	Thailand	メディア関連機器、業務用機器
JVCKENWOOD Optical Electronics (Thailand) Co., Ltd.	Thailand	カーエレクトロニクス関連、メディア関連機器
PT. JVC Electronics Indonesia	Indonesia	カーエレクトロニクス関連機器
Shanghai Kenwood Electronics Co., Ltd.	China	カーエレクトロニクス関連、通信関連機器

運営会社：米州地域

会社名	所在地
JVCKENWOOD USA Corporation	U.S.A.
JVCKENWOOD Canada Inc.	Canada
JVCKENWOOD Latin America, S.A.	Panama

運営会社：EMEA 地域

会社名	所在地
JVCKENWOOD U.K. Limited	The United Kingdom
JVCKENWOOD Italia S.p.A.	Italy
JVCKENWOOD Deutschland GmbH	Germany
JVCKENWOOD Belgium N.V.	Belgium
JVCKENWOOD Europe B.V.	Netherlands
JVCKENWOOD RUS Limited Liability Company	Russia
JVCKENWOOD Gulf Fze	U.A.E.

運営会社：アジア、オセアニア地域

会社名	所在地
JVCKENWOOD Singapore Pte. Ltd.	Singapore
JVCKENWOOD Malaysia Sdn. Bhd.	Malaysia
JVCKENWOOD (Thailand) Co., Ltd.	Thailand
PT. JVCKENWOOD Indonesia	Indonesia
JVCKENWOOD Australia Pty. Ltd.	Australia

運営会社：中国地域

会社名	所在地
JVCKENWOOD (China) Investment Co., Ltd.	China
JVCKENWOOD Hong Kong Ltd.	China

その他の主要関係会社

会社名	所在地	事業内容
Zetron, Inc.	U.S.A.	通信関連システム・機器の開発・生産・販売
EF Johnson Technologies, Inc.	U.S.A.	業務用無線システムの開発・製造・販売
ASK Industries S.p.A.	Italy	カーエレクトロニクス関連製品の開発・製造・販売
Radio Activity S.r.l.	Italy	業務用無線システムの開発、販売
Rein Medical GmbH	Germany	OR 映像システムソリューションの開発・販売・施工
JVCKENWOOD Technologies Singapore Pte. Ltd.	Singapore	通信関連機器の製造・販売
JVCKENWOOD Hong Kong Holdings Limited	China	車載用関連機器の製造販売および電子機器受託生産サービス

国内ネットワーク

2018年6月1日現在

事業所／研究開発拠点

拠点名	所在地	主要研究開発品目
本社・横浜事業所	神奈川県横浜市	プロジェクター、ビデオカメラ、AVアクセサリ、ホームオーディオ等
八王子事業所	東京都八王子市	カーエレクトロニクス関連機器
白山事業所	神奈川県横浜市	無線機器、映像監視機器等
久里浜事業所	神奈川県横須賀市	D-ILAデバイス、レーザーダイオード等

主要生産拠点および生産会社

拠点および生産会社名	所在地	主要生産品目
本社・横浜事業所	神奈川県横浜市	光学部品
久里浜事業所	神奈川県横須賀市	光学部品、プロジェクター
横須賀事業所	神奈川県横須賀市	CD、DVD(パッケージソフト)
(株)JVCケンウッド山形	山形県鶴岡市	通信関連機器、業務用機器
(株)JVCケンウッド長野	長野県伊那市	カーエレクトロニクス関連機器
(株)JVCケンウッド長岡	新潟県長岡市	医用画像表示用ディスプレイ、車載基板

その他の主要関係会社

関係会社名	所在地	事業内容
(株)JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント	東京都渋谷区	音楽・映像ソフト等の企画・制作・販売
(株)JVCケンウッド・クリエイティブメディア	神奈川県横須賀市	記録済み光ディスクの開発・製造・販売
(株)JVCケンウッド・公共産業システム	神奈川県横浜市	音響・映像・通信関連の業務用機器の製造販売・工事・保守修理
(株)JVCケンウッド・ビデオテック	東京都渋谷区	映像の制作・編集・販売、スタジオ運営
(株)JVCケンウッド・サービス	神奈川県横須賀市	音響・映像機器等のアフターサービス
(株)JVCケンウッド・エンジニアリング	神奈川県横浜市	ハードウェアおよびソフトウェアの開発設計
(株)JVCケンウッド・デザイン	東京都世田谷区	工業デザインの企画制作
(株)JVCケンウッド・パートナーズ	東京都八王子市	福利厚生・総務・人事・経理業務等の受託

沿革

JK 1.0 「旧日本ビクター株式会社」「旧株式会社ケンウッド」 個社の時代 技術と文化の創造によるグローバル企業への成長

日本ビクター株式会社

- 1927年 日本ビクター蓄音器株式会社設立
- 1939年 日本初のテレビジョン受信機完成
- 1958年 日本初のステレオ盤LPとステレオセット「STL-1S」を発売



日本初のテレビジョン受信機

HR-3300

GR-DV1

- 1972年 ビクター音楽産業株式会社設立 (現・株式会社 JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント)
- 1976年 家庭用 VHS ビデオカセット第一号機「HR-3300」を発売
- 1986年 世界最小・最軽量 VHS ビデオムービー「GR-C7」を発売
- 1995年 世界初ポケットサイズデジタルムービー「GR-DV1」を発売
- 2003年 ウッドコーン・スピーカー搭載コンパクトコンポーネントシステム「EX-A1」を発売
- 2007年 家庭用ビデオカメラで世界初、1920フルハイビジョンを実現した、ハイビジョンハードディスクムービー“Everio”「GZ-HD7」を発売

●音楽と映像の文化を日本へ ●時代を築く技術開発 ●VHSによるグローバル企業としての発展 ●時代の先駆けとなる商品提案

1920 1930 1940 1950 1960 1970 1980 1990 2000

●無線にはじまる革新のスタート ●業界をリードするトランジスタ戦略 ●時代を代表するCI戦略の成功

株式会社ケンウッド

- 1946年 有限会社春日無線電機商会設立
- 1957年 日本メーカーとして初めてFMチューナー「FM-100」の輸出を開始
- 1960年 トリオ株式会社に社名変更
- 1962年 業界初のトランジスタアンプ「TW-30」を発売
- 1978年 日本で業務用無線機分野に参入



FM-100

TW-30

KNV-100

- 1980年 米国でカーオーディオ分野に参入 日本で「KENWOOD」ブランドのカーオーディオを発売
- 1986年 株式会社ケンウッドに社名変更
- 1991年 マクラーレンF1 チームとオフィシャルサプライヤー契約を締結 チーム専用無線システムの開発・供給開始
- 1992年 業界初の1DIN サイズ GPS カーナビゲーションシステム「KNV-100」を発売し、カーナビゲーション分野に参入
- 2004年 東洋通信機株式会社から無線事業を譲受
- 2005年 デジタル無線通信機の技術仕様標準化の共同研究に関して アイコム株式会社と資本・技術提携を締結
- 2007年 米国無線通信システム事業会社 Zetron Inc. を子会社化

JK 2.0 経営統合～構造改革 会社基盤を整備し、次世代に向けた成長の土台をつくる

- 2007年 7月 「日本ビクター株式会社」と「株式会社ケンウッド」がカーエレクトロニクス事業およびホームオーディオ事業での協業と両社の経営統合の検討を柱とした資本業務提携契約を締結
- 2008年 10月 ビクターとケンウッドが株式移転の方法により共同持株会社「JVC・ケンウッド・ホールディングス株式会社」を設立 (東京証券取引所市場第一部に上場)
- 2009年 12月 ケンウッドとビクターで同一プラットフォームを初めて採用したカーナビゲーション「MDV-313」を発売

- 2014年 1月 国内外の有望ベンチャー企業との連携による成長戦略の加速に向けてベンチャー投資育成組織 WIL が運用する「WIL FUND I, L.P.」へ出資
- 3月 北米向けデジタル無線規格 P25 に対応した業務用無線システムを手がける「EF Johnson Technologies, Inc.」の全株式を取得
- 9月 NEXEDGE/P25 規格 両対応 マルチモードデジタル無線機「NX-5000」シリーズを発売
- 12月 高精細で鮮明なフル HD (1920×1080) 映像の記録が可能なドライブレコーダー「KNA-DR300」を発売し、ドライブレコーダー市場に参入

- 2011年 8月 「JVC・ケンウッド・ホールディングス株式会社」の社名を「株式会社 JVC ケンウッド」に変更
- 10月 JVC ケンウッドがビクター、ケンウッドおよび J&K カーエレクトロニクスの3社を吸収合併
- 2012年 4月 香港の車載 AV 機器用 CD / DVD メカニズム製造・販売の最大手である「Shinwa International Holdings Limited」の発行済株式数の合計 45% を取得し、持分法適応会社化
- 6月 グループ発足後初となる配当 (1株当たり5円) を実施
- 11月 2016年3月期を最終年度とする新たな中期経営計画を策定
- 2013年 3月 8K 解像度表示を実現した世界初の量産モデル業務用 D-ILA プロジェクター「DLA-VS4800」を発売
- 7月 「東京特殊電線株式会社」から「東長岡株式会社」(現・「株式会社 JVC ケンウッド長岡」) の全株式を会社分割 (吸収分割) により承継

- 2015年 3月 業務用 4Kメモリーカードカメラレコーダー「GY-LS300CH」を発売
- 4月 欧州の車載用部品事業会社「ASK Industries S.p.A」を連結子会社化
- 5月 2012年に策定した中期経営計画を見直し、2021年3月期を見据えた中長期経営計画「2020年ビジョン」を策定
- 2016年 3月 シスメックス株式会社とエクソソームを対象とした診断機器の共同開発を開始
- 4月 業務用システム事業の拡大を目指して、「株式会社 JVC ケンウッド・公共産業システム」を設立



MDV-313

DLA-VS4800

KNA-DR300

GY-LS300CH

JK 3.0 企業文化を含めこれまでのすべてを変え、 顧客価値創造を実現するべく進化を目指す

- 2016年 7月 クラウドファンディングサービスを利用した、マルチライブモニターイヤホンの開発支援プロジェクトを開始
- 2017年 3月 ヘッドホン再生で、リスニングルームのスピーカー音場と定位を再現できる頭外定位音場処理技術「EXOFIELD (エクソフィールド)」の開発を発表
- 4月 連結子会社である「株式会社 JVCケンウッド・ケネックス」および「株式会社 JVCケンウッド・ホームエレクトロニクス」を吸収合併
- 5月 英国マクラーレン・オートモーティブ社と高級スポーツカー「McLaren 720S」向け先進的デジタルコックピットシステムを共同開発
- 8月 三和交通株式会社とタクシー配車システムの開発・導入に向けた業務協働に関する覚書を締結

- 2018年 1月 DMR*に対応した中継器などの開発・販売を手掛けるイタリアの Radio Activity S.r.l. の全株式を取得
- *DMR: デジタル無線の国際規格「Digital Mobile Radio」の略
- 1月 2015年に策定した中長期経営計画「2020年ビジョン」の進捗および見直しを発表
- 3月 英デジタル無線規格「DMR」に対応した当社無線システムがロードレース世界選手権“MotoGP™”に採用

JK 3.1 新経営体制のもと 新たな経営方針で発展を加速

- 2018年 4月 新経営体制発足に伴い、新「経営方針」「行動指針」を制定
- 5月 OR* 映像システムソリューションを手掛けるドイツの Rein Medical GmbH の全株式を取得
- *OR: Operating Room の略
- 5月 トラック運送業界を対象とした商用テレマティクス分野への参入に向けて、通信型ドライブレコーダーを開発

2016

2017

2018



頭外定位音場処理技術「EXOFIELD (エクソフィールド)」



光ディスク (DVD / Blu-ray) 技術に応用した診断装置



デジタルコックピットシステム



空間音響デザインソリューション「KooNe (クワネ)」



クラウドファンディングサービスを活用したマルチライブモニターイヤホン



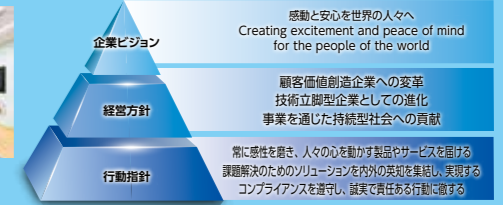
視線計測装置「Gazefinder (ゲイズファインダー)」



“MotoGP™”に採用されている当社「DMR」無線システム



Rein Medical社が手掛ける先進のOR映像システムソリューション



JVCKENWOOD

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3丁目12番地

●本誌に関するお問い合わせ先

企業コミュニケーション部 広報・IRグループ

Tel : 045-444-5232 FAX : 045-444-5239

E-mail : prir@jvckenwood.com